

交通安全協会は、交通事故をなくすため、幅広い活動を行っています。

交通安全協会の活動は、皆さんからご協力いただいた会費で支えられています。

- 交通安全アドバイザーによる交通安全教室
- 高齢者宅訪問指導
- 交通安全イベント・フェスタ等の開催
- ドライビングシミュレーターによる運転疑似体験
- 新入園児、新入学小学生への交通安全教材の提供
- 交通事故無料相談の開設
- 子ども自転車三重県大会
- 交通安全の広報啓発
- 交通安全事故防止街頭啓発活動
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通安全国民運動中央大会

- ★ 運転者会員
3年会費・・・1,500円 5年会費・・・2,500円
※ 途中入会の方は、免許の有効期間の残り年数1年当たり500円となります。
- ★ 賛助会員
当協会の活動に賛同していただく事業所・団体及び個人にご協力いただいております。

地区名	住所	電話番号
三重県交通安全協会	〒514-0004 津市栄町1丁目954栄町庁舎5F	059-228-9636
桑名地区交通安全協会	〒511-0836 桑名市江堤626-2	0594-23-9680
いなべ地区交通安全協会	〒511-0206 いなべ市員井町宇野320-1	0594-74-4646
四日市地区交通安全協会	〒510-8015 四日市市松原町4-32	059-366-3448
四日市南地区交通安全協会	〒510-0064 四日市市新正5丁目5-5	059-353-2212
四日市西地区交通安全協会	〒510-1222 三重郡菟野町大強原3241	059-394-5456
亀山地区交通安全協会	〒519-0165 亀山市野村4丁目1-27	0595-82-1146
鈴鹿地区交通安全協会	〒510-0237 鈴鹿市江島町3446	059-388-1241
津地区交通安全協会	〒514-0033 津市丸之内22-1	059-227-5550
津南地区交通安全協会	〒514-1101 津市久居明神町2501番地1	059-256-2010
松阪地区交通安全協会	〒515-0019 松阪市中央町366-1	0598-52-5431
大台地区交通安全協会	〒519-2404 多気郡大台町佐原848	0598-82-3090
伊勢地区交通安全協会	〒516-0016 伊勢市神田久志町1481-3	0596-25-1607
鳥羽地区交通安全協会	〒517-0042 鳥羽市松尾町74番地4	0599-26-2606
尾鷲地区交通安全協会	〒519-3652 尾鷲市古戸町1-50	0597-23-0553
熊野地区交通安全協会	〒519-4324 熊野市井戸町380	0597-89-3701
紀宝地区交通安全協会	〒519-5701 南牟婁郡紀宝町藤殿1709-2	0735-32-0597
伊賀地区交通安全協会	〒518-0823 伊賀市四十九町下敷免1929-1	0595-23-1944
名張地区交通安全協会	〒518-0751 名張市蔵持町芝出837-3	0595-63-1705

お問い合わせ、お申し込みは各地区交通安全協会・免許事務課(運転免許センター内)まで

交通安全協会は一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの方の命を守るために活動しています。
お住まいの地域で悲惨な交通事故をなくすために、当協会の活動にぜひご支援・ご協力をお願いします。

会員の皆様へ協賛店サービス

県内外数百店舗のご協力により、「会員の店」での優待(料金の割引等)がご利用いただけます。
なお、「会員の店」(協賛店)情報は携帯サイトアドレス及びQRコードからも検索できます。

【携帯サイトアドレス】
<http://www.mie-ankyo-mise.com/mobile/>

三重県交通安全協会では、「協賛店」を募集しています。各地区交通安全協会へお問い合わせください。

この表示がある店舗が協賛店です。

対応携帯機種であれば、ここからもアクセスできます。

[QRコード]



(一財)全日本交通安全協会が交通ルールの遵守とマナーの向上等を図るために作成したロゴマークです。

(一財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2013/初冬号 No.184

発行所
(一財)三重県交通安全協会
三重県交通安全活動推進センター
(三重県公安委員会指定)
〒514-0004
津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F
TEL 059-228-9636
URL <http://www.mie-ankyo.com/>

北から南から～各地区の活動～

交通安全協会は交通事故を防止するために幅広い活動を行っています。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 保育・幼稚園、小・中学校への交通安全資器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

大台地区交通安全協会、名張地区交通安全協会の活動はP2にズームアップ!



わたしはシンボルマスコット「ストッピー」です。

- 桑名: 交通安全フェスティバル会場での広報啓発活動
- いなべ: 「交通事故死ゼロを目指す日」の広報啓発活動
- 四日市北: 交通事故多発に伴う夜間街頭指導
- 四日市南: 交通安全活動推進モデル校での早朝街頭啓発活動
- 四日市西: 交通事故なし(梨)キャンペーン
- 亀山: 交通安全コントを交えた高齢者交通安全指導
- 鈴鹿: 小学校の下校時における交通安全街頭指導
- 津: 追突事故「ゼロ」を目指した広報啓発活動
- 津南: 子どもキーホルダー作成を通じた交通安全啓発活動
- 松阪: 「高齢者の日」キャンペーン会場での広報啓発活動
- 伊勢: 「交通事故死ゼロを目指す日」のキャンペーン
- 鳥羽: 「チャイルドシート着用推進モデル保育所」の指定式
- 尾鷲: 「事故のない街」を願う交通安全パレード
- 熊野: 中秋の名月の行事「たばらして」での子どもへの啓発活動
- 紀宝: ハンドルキーパー推進モデル店の指定式
- 伊賀: ミニブタも参加した交通安全広報啓発活動

交通安全協会の活動は、会員の皆様からのご支援・ご協力により、支えられています。

大台地区交通安全協会

童謡の替え歌で楽しく交通ルールを学ぶ



大台地区交通安全協会は、各季の交通安全運動期間中の活動として、管内の保育園を「チャイルドシート着用推進モデル保育園」に指定して、園児と保護者のほか保育士等関係者にも着用意義を説明し、意識の高揚を図りました。

引き続きで開催した交通安全教室では、園児らが楽しんで交通ルールを学べるよう、童謡の替え歌「みぎ ひだり みぎ」を参加者全員で合唱しました。



名張地区交通安全協会

手作りの紙芝居と人形劇で交通安全を伝える



名張地区交通安全協会は、管内で開催された「体育・健康フェスタ2013」に参加し、ブースを設置して交通事故防止意識の高揚を図るとともに、女性部員が紙芝居と人形劇の上演を通じて交通安全を訴えました。紙芝居や人形劇で使用する全ての器材は、女性部員が、「子どもたちから交通事故を1件でもなくしたい。」との思いで手作りしたものです。



TSマーク、ご存じですか？



三重県内における平成24年中の自転車による人身事故は1,235件で全人身事故の1割強を占めています。

特に、自転車が加害者となる自転車対歩行者の事故は年々増加しており、高額な損害賠償を請求される事例も増えてきています。

全国で報告されている事故事例

- 歩車道の区別のない薄暗い道路を中学生が無灯火の自転車に乗って走行中、前から歩いてきた歩行者に衝突。歩行者に頭部外傷による後遺障害。 **3,000万円の賠償命令**
- 幹線道路を走行中の自転車が、信号を無視して進行したため、横断中の歩行者に衝突。歩行者が死亡。 **3,000万円の賠償命令**
- 交差点を一時停止せずに左折・進行した自転車Aと直進してきた自転車Bが衝突。Bの運転者が重傷。 **1,300万円の賠償命令**



このマークのある自転車安全整備店で、点検・整備を受けてTSマークを貼ってもらうと保険が付帯されます。

TSマークってなに？

「TSマーク」は自転車安全整備店で自転車安全整備士による点検、整備を終えた「安全な自転車」に貼るシールです。賠償責任保険と傷害保険の2つがセットになった1年間の付帯保険が付いている「安心の証」です。

傷害補償	入院15日以上(一律)	10万円
	死亡又は重度後遺障害(1~4級・一律)	100万円
賠償責任補償	死亡又は重度後遺障害(1~4級・一律)	2,000万円

秋の全国交通安全運動実施結果

9月21日(土)~30日(日)

区分	年別	平成25年	平成24年	増減数
総事故件数		1,823件	1,754件	+69件
人身事故		218件	275件	-57件
死者数		3人	1人	+2人

運動期間中の死者数は3件3人(前年同期対比+2件、2人)で、子ども1人と二輪に乗車の2人の方が亡くなりました。

なお、運動終了日現在の県下の全死者数は68人で、その半数近くが高齢者です。



夕暮れ時、ちょっと早めの

ライト・オン運動実施中!

10月1日~12月31日まで

推進事項

- 夕暮れ時の早めのライト点灯(自動車、二輪車、自転車利用者)
夕暮れ時は交通事故が多発します。見るためのライトを見せるためにも点灯しましょう!
- 反射材の着用推進(歩行者、自転車利用者)
明るい服装と反射材を使って車にアピール!
特に、夜間は自分の存在を知らせて安全を確保しましょう!



「冬季に向けた交通安全の心備え」

今年の冬は寒いという気象予想が出ている。予想どおりだとしたら、ギャップは大きい。自分の体調管理もそうだが、車の体調管理も重要である。暑かった夏の疲労は車にもでる。タイヤ、バッテリー、オイル等、冬になる前にプロの診断・ケアを受けてほしい。

私事であるが、7時40分にマイカーで自宅を出て約40分で職場に到着する。7時50分ではどうか? 道路環境は一変する。まず、前を見ず、「スマホ」を見て駅に向かう高校生軍団と出会う。こちらが止まって高校生が通過するのを待たないとぶつかる。次に小学生の通学団を追い越す。いなかの一般道は狭い。小学生の歩くスピードにあわせないとかなり危ない。10分出発が遅いと通勤時間は5分強余分にかかる。

冬季は、凍結、降雪等の気象変化による道路環境の変化も著しい。環境の変化は「あせり」を生み、事故につながる。

冬に向けた交通安全の心構え、具体策を職場で話し合っていたきたい。



一般社団法人 日本自動車販売協会連合会三重県支部
総務部長 川野 一津馬

ご紹介

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

自動車の健全な普及と流通・環境面等の諸問題の改善、整備を図る目的を達成するため、昭和34年に設立された自動車ディーラーの全国組織で、全国都道府県に支部を設置しています。

年末の交通安全県民運動

平成25年12月11日(水)~20日(金)

運動の重点

- 1 子どもと高齢者の交通事故防止
(特に、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通安全対策の推進)
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 飲酒運転の根絶

